

平成30年12月期 決算説明会

株式会社 大日光・エンジニアリング (証券コード:6635)

平成31年2月27日
代表取締役社長
山口 侑男

本件資料は、投資家の皆様の参考に資するため、株式会社大日光・エンジニアリング(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成いたしましたものです。

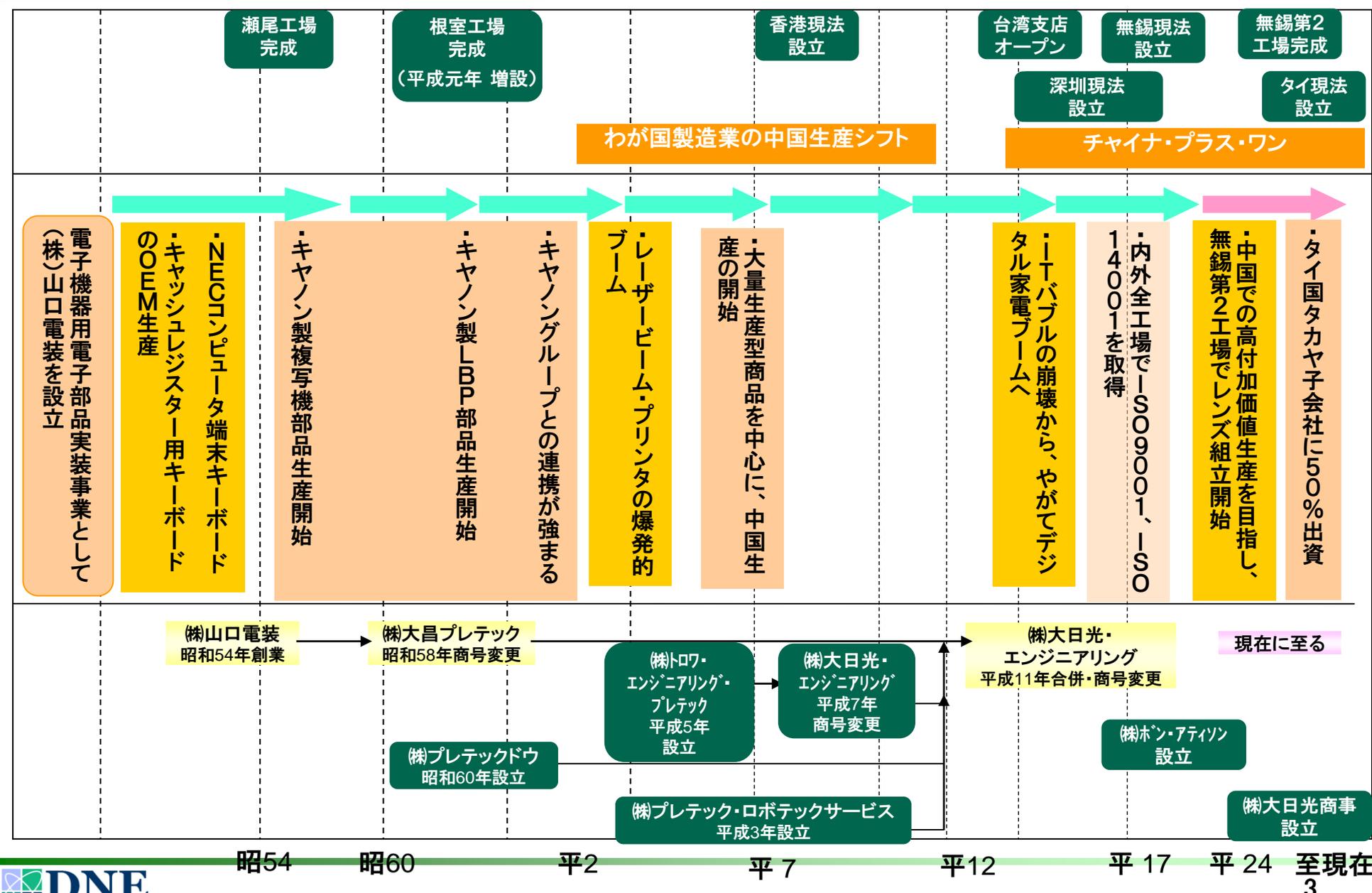
資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢、及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性がございます。

投資に際しての最終的なご判断は、ご自身のご判断でなされますようお願い申し上げます。

- ➔ **会社概要/沿革等** P. 2 ~ 5
- ➔ **経営成績概要/分析** P. 6 ~ 16
- ➔ **業績予想** P. 17
- ➔ **中長期的な経営戦略**
..... P. 18 ~ 21

会社概要

- ◆ 会社名 株式会社 大日光・エンジニアリング
- ◆ 英訳名 Di-Nikko Engineering Co.,Ltd.
- ◆ 代表者 代表取締役社長 山口 侑男
- ◆ 本社所在地 栃木県日光市瀬尾33番地5
- ◆ 設立 昭和54年9月
- ◆ 公開市場 東京証券取引所JASDAQ(証券コード:6635)
平成19年3月上場
- ◆ 資本金 8億5,630万円(平成30年12月末現在)
- ◆ 従業員数 単体 237人 連結 1,380人(平成30年12月末現在)
- ◆ 主要業務 電子部品実装を核とするエレクトロニクス製品の受託加工事業
基板設計から、最適部品の調達、技術者の派遣、製造、物流までのサービスを一貫して提供
- ◆ 連結子会社 国内2社、海外4社(平成30年12月末現在)
- ◆ 持分法適用関連会社 海外1社 (")



DNEグループ国内拠点 - Domestic Locations-

瀬尾工場 昭和54年生産開始



- 精密機器組立工場
- クリーンルーム有り (クラス10000 有人時)
- 工場面積2,600㎡
- 今市インターより10分(今市警察署斜め向かい)

杉の郷工場 平成22年生産開始



- 基板実装生産工場、その他
- SMT 5LINE
- 工場面積3,200㎡
- 大沢インターより15分 (杉の郷カントリー横)

轟工場 平成23年生産開始



- 精密光学機器組立工場
- クリーンルーム有り (クラス5000 有人時)
- 工場面積5,500㎡
- 今市インターより20分 (大日光工業団地内)

根室工場 昭和60年生産開始



- 本社機能、調達拠点、設計拠点、基板実装生産工場
- SMT 6LINE
- 工場面積6,000㎡
- 大沢インターより10分(県青少年スポーツセンター向かい)



DNEグループ海外拠点 - Overseas Locations -

TROIS ELECTRONICS(WUXI)CO.,LTD.



第一工場



第二工場

- 第一 ■ 江蘇省無錫新区開發区内
- 第二 ■ 上海虹橋空港より車で1.5時間



NEW TROIS ELECTRONICS(SHENZHEN) LTD. 福永工場

彩煌（深圳）龍華第二工場



福永工場



彩煌工場

- 福永 ■ 広東省深圳市宝安区福永工業団地内
- 深圳宝安空港より車で15分
- 彩煌 ■ 広東省深圳市龍華区
- 香港-深圳国境地点より車で30分

TROIS ENGINEERING PRETEC HK LTD.



- 香港事務所・倉庫
- 香港新界沙田
- KCR石門駅より徒歩5分

TROIS THAILAND CO., LTD.



- チョンブリ県
- シーラーチャー郡
- ピントン工業団地
- フェーズⅡ

平成30年12月期連結経営成績概要

連結損益計算書

(単位:百万円)	平成29年 実績	平成30年 実績	対前年 増減	対前年 増減率
売上高	25,494	25,788	294	1.2%
売上総利益 (売上総利益率)	2,145 8.4%	2,324 9.0%	179	8.3%
営業利益 (営業利益率)	171 0.7%	100 0.4%	△71	△41.6%
経常利益 (経常利益率)	294 1.2%	45 0.2%	△249	△84.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	215 0.8%	△829 —%	△1,045	—

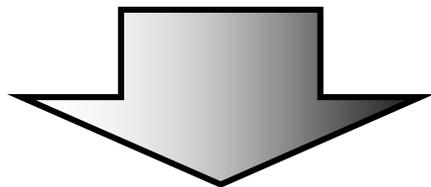
連結経営成績に関する分析(連結売上高)

(1) 日本の売上高:10,048百万円(前年同期比7.3%増)

- 【要因】
- ・ オフィス・ビジネス機器用・・・米中貿易摩擦の影響による国内回帰の動き
 - ・ 社会生活機器用・・・個人消費の持ち直しによる売上増
 - ・ 遊技機向け・・・遊技人口減少に伴う市場低迷
 - ・ 産業機器用・・・光学機器向け・ディスプレイ装置向け売上が増加

(2) アジアの売上高:15,740百万円(前年同期比2.4%減)

- 【要因】
- ・ 香港・中国深圳子会社・・・米中貿易摩擦の激化および人件費上昇等のため
最終メーカーが生産拠点を中国から東南アジアへシフト
 - ・ 中国無錫子会社・・・車載機器用・産業機器用は増加
 - ・ タイ子会社・・・車載機器用を中心とした量産体制の本格稼動



連結売上高:25,788百万円(前年同期比1.2%増)

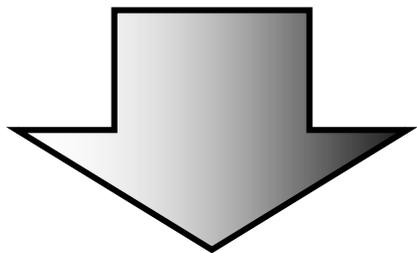
連結経営成績に関する分析(連結損益)

(1) 連結営業利益:100百万円(前年同期比41.6%減)

- ・大幅な生産変動により中国深圳子会社の生産効率が悪化
- ・中国における人件費上昇等による製造経費増加

(2) 連結経常利益:45百万円(前年同期比84.7%減)

- ・為替差損の発生および消耗品等売却益の減少
- ・借入金増加により支払利息が増加



上記に加えて、

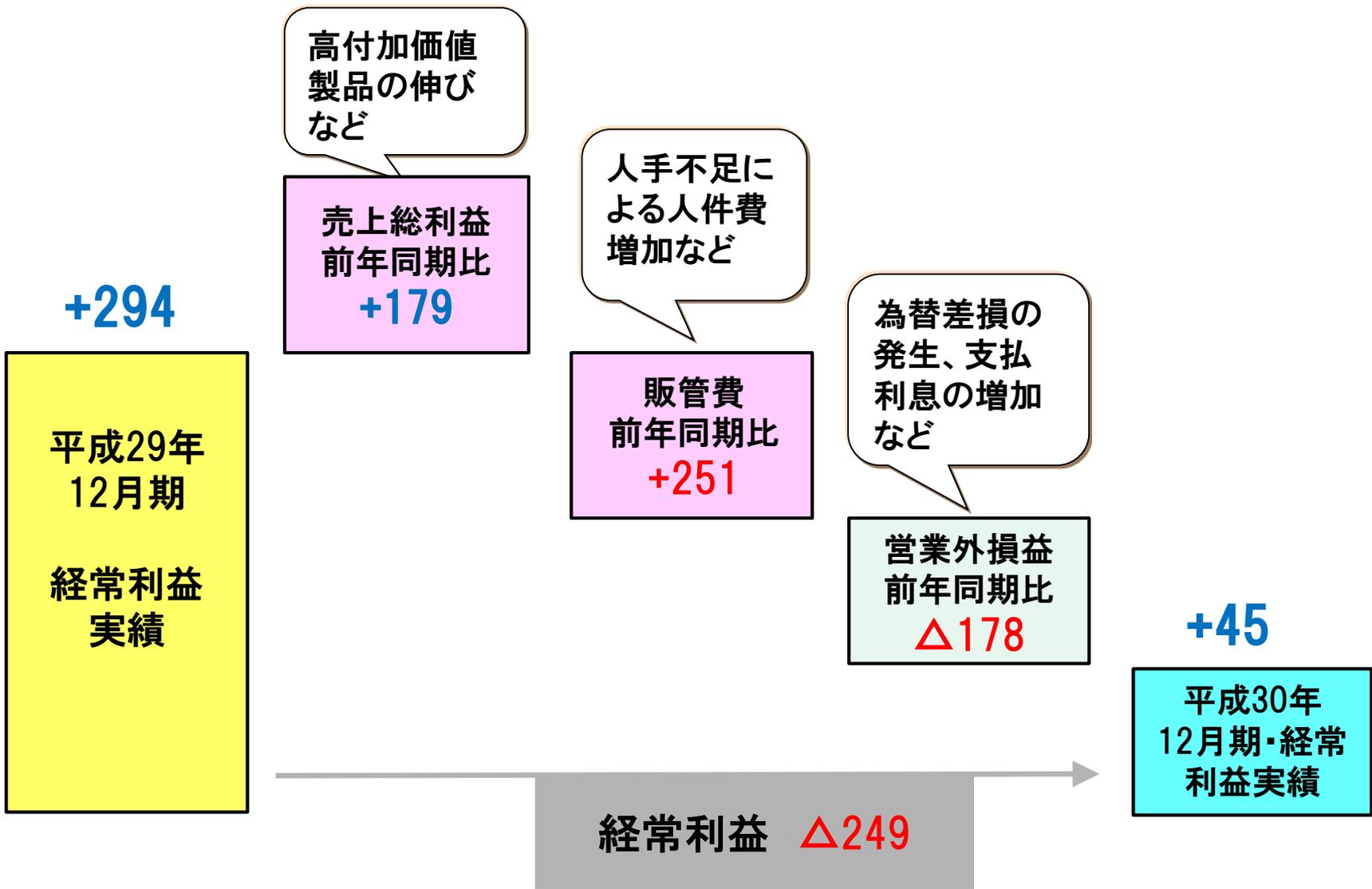
- ・固定資産減損による特別損失
- ・固定資産除売却による特別損失

親会社株主に帰属する

当期純損失:829百万円 (前期は親会社株主に帰属する当期純利益215百万円)

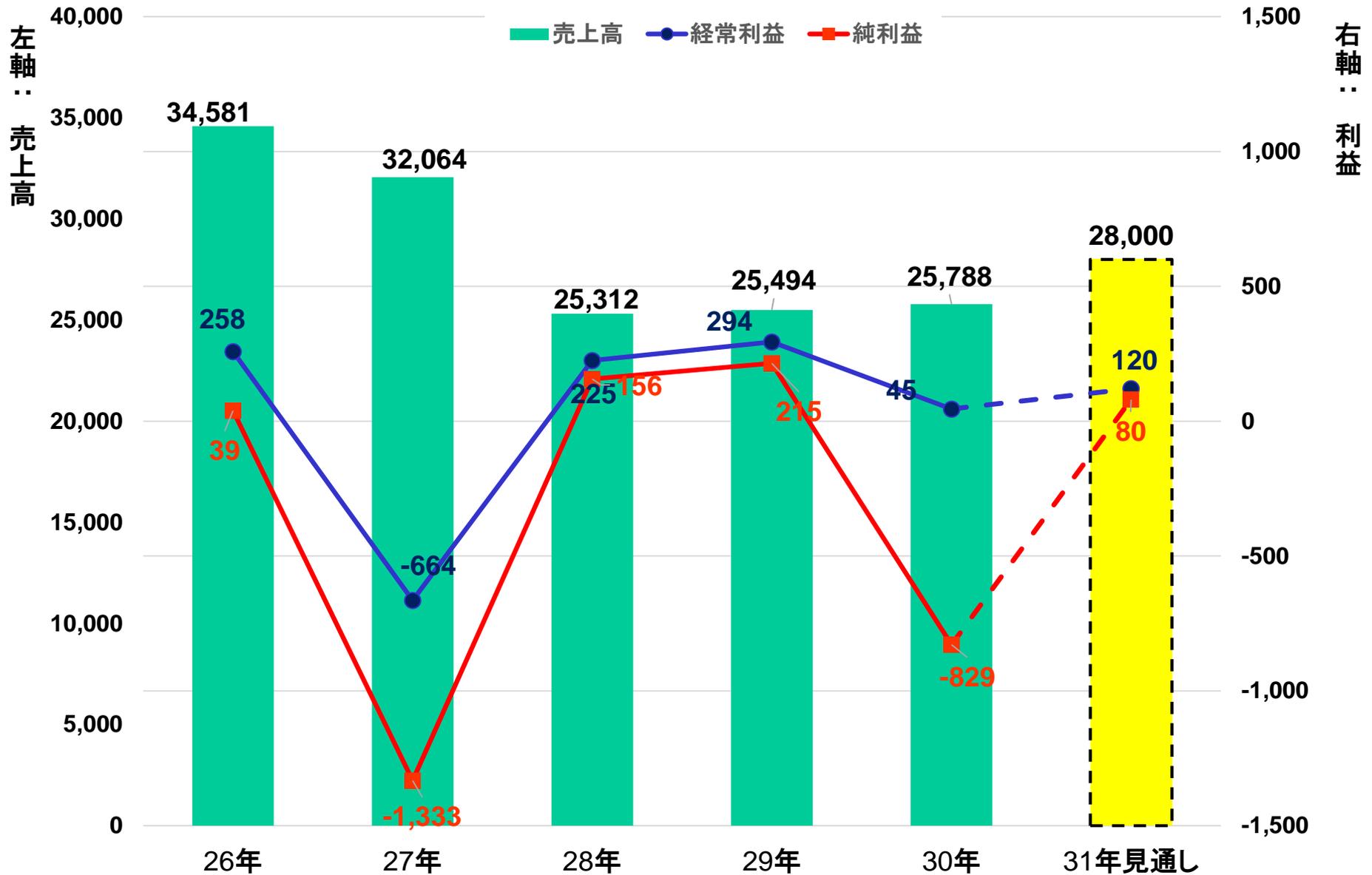
連結経常利益減少要因分析

(単位:百万円)



連結業績推移

(単位:百万円)

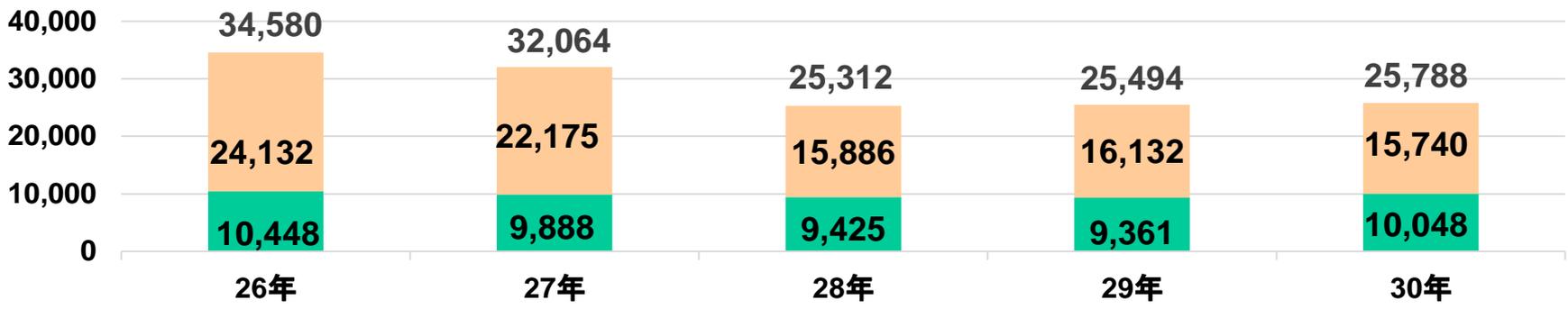


報告セグメントごとの売上高、及び利益又は損失の金額推移

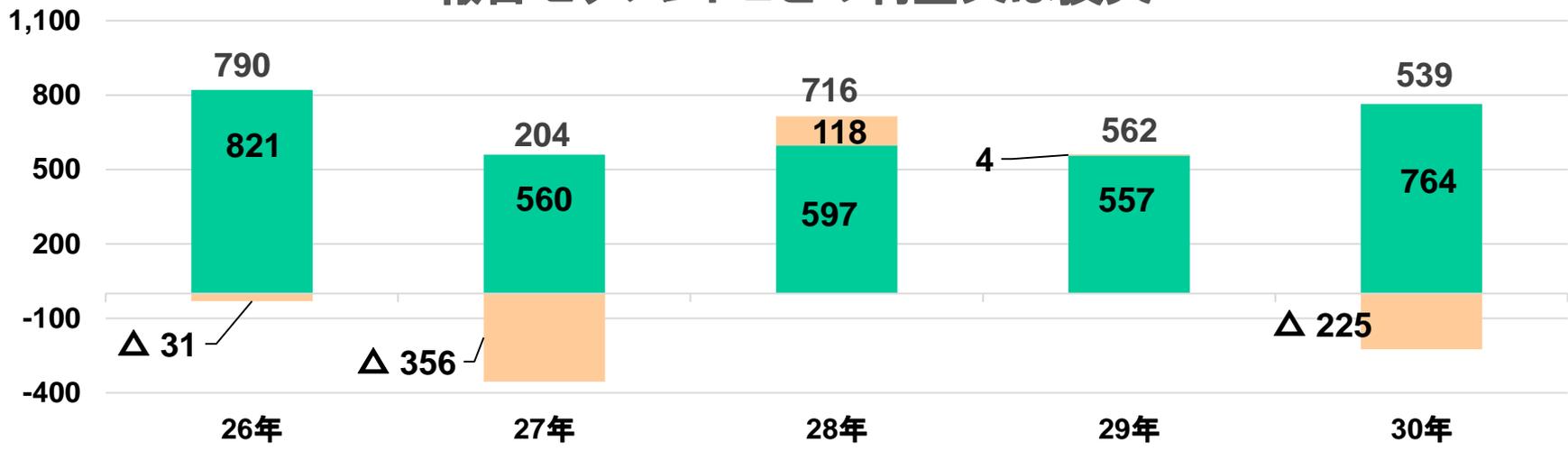
(単位:百万円)

報告セグメントごとの売上高

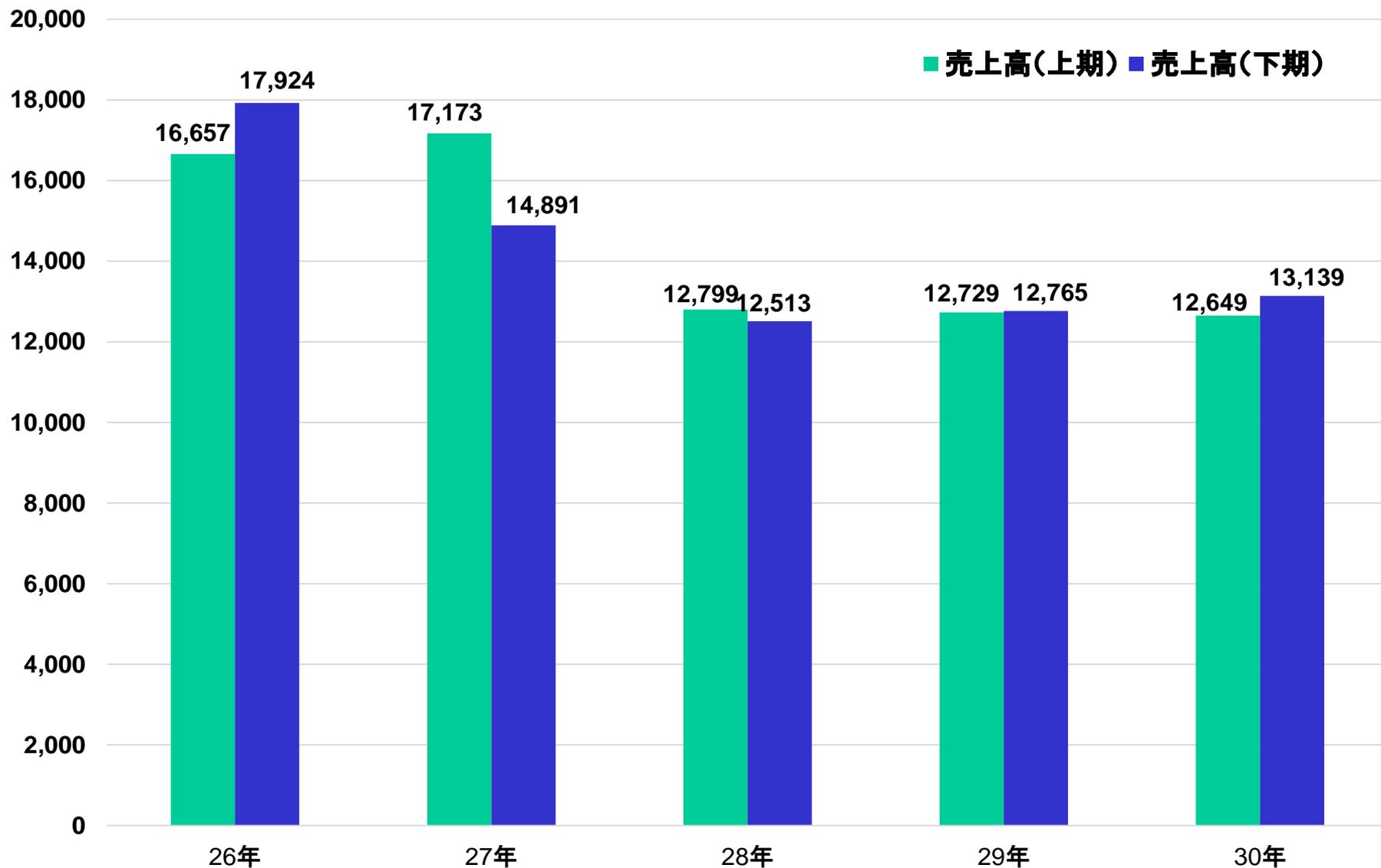
■ 日本 ■ アジア



報告セグメントごとの利益又は損失



上期・下期別売上高動向



連結貸借対照表(主な勘定の増減)

(単位:百万円)

		平成29年 12月31日	平成30年 12月31日	増減			平成29年 12月31日	平成30年 12月31日	増減
資産	現金及び預金	2,249	1,633	△61	負債	支払手形及び 買掛金、でんさい	4,862	4,553	△308
	受取手形及び 売掛金、でんさい	6,132	6,428	295		短期借入金	1,843	2,997	1,153
	棚卸資産	4,386	5,046	660		1年以内返済予定 長期借入金	2,157	2,294	136
	その他	476	554	77		その他	1,024	1,242	217
	流動資産	13,245	13,662	417		流動負債	9,888	11,087	1,198
	有形固定資産	3,637	3,374	△262		長期借入金	4,289	4,353	63
	無形固定資産	130	110	△20		その他	126	193	67
	投資その他	1,028	1,044	15		固定負債	4,416	4,547	131
	固定資産	4,796	4,528	△267		負債合計	14,304	15,634	1,330
						純資産	資本金	1,419	1,419
				資本剰余金					
				利益剰余金	1,393		506	△887	
				為替換算調整勘定	943		745	△198	
				その他	△19		△114	△95	
				純資産合計	3,737	2,556	△1,180		
資産合計	18,041	18,191	150	負債/純資産合計	18,041	18,191	150		

連結財政状態に関する分析(資産・負債及び純資産の状況)

(総資産) 前期末比150百万増の18,191百万円

- ・ **流動資産**:現金及び預金が減少の一方、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加
⇒ 前期末比417百万円増の13,662百万円
- ・ **固定資産**:建設仮勘定が増加の一方、建物及び構築物、機械装置及び運搬具が減少
⇒ 前期末比267百万円減の4,528百万円

(負債) 前期末比1,330百万円増の15,634百万円

- ・ **流動負債**:支払手形及び買掛金が減少の一方、短期借入金が増加
⇒ 前期末比1,198百万円増の11,087百万円
- ・ **固定負債**:長期借入金の増加等
⇒ 前期末比131百万円増の4,547百万円

(純資産) 前期末比1,180百万円減の2,556百万円

- ・ 利益剰余金及び為替換算調整勘定の減少等

連結財政状態に関する分析(キャッシュ・フローの状況)

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	A) 営業活動による キャッシュ・フロー	B) 投資活動による キャッシュ・フロー	C) 財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
30年12月期	△876	△1,016	1,333	1,633
29年12月期	433	△631	59	2,249

(現金及び現金同等物) 前期末比615百万円減の1,633百万円

A) 営業活動の結果使用した資金:876百万円

- ・主に、棚卸資産の増加848百万円、税金等調整前当期純損失694百万円及び売上債権の増加500百万を計上したことによる。

B) 投資活動の結果使用した資金:1,016百万円

- ・主に、有形固定資産の取得による支出878百万円があったことによる。

C) 財務活動の結果獲得した資金:1,333百万円

- ・主に、短期借入金の純増額1,225百万円及び長期借入金の返済による支出2,408百万円があった一方、長期借入による収入2,610百万円があったことによる。

平成30年12月期連結業績予想数値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	360	320	240	92.45
実績値(B)	25,788	100	45	△829	△319.72
増減額(B-A)	△2,211	△259	△274	△1,069	-
増減率	△7.9%	△72.1%	△85.9%	-	-
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	25,494	171	294	215	82.95

差異の理由

- 損益面では、米中貿易摩擦の影響などにより中国子会社の売上が伸び悩んだこと、および一部電子部品の不安定な入荷状況を受け、極めて大きな生産変動となったことに対応するため、人件費が予算比で大きく増加した結果、連結営業利益は100百万円(前回予想比72.1%減)となりました。
- 一方、経常利益につきましては、為替差損の発生や消耗品等売却益が減少したことなどから営業外損益が悪化した結果、連結経常利益は45百万円(前回予想比85.9%減)となりました。
- 上記に加えて、固定資産減損および固定資産除売却による特別損失、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は829百万円となりました。

平成31年12月期の連結業績予想(平成31年1月1日～12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		一株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	13,000	2.8	△60	—	△110	—	△110	—	△42.38
通 期	28,000	8.6	220	119.1	120	166.2	80	—	30.82

1. 意識改革に根ざした抜本的構造改革の断行

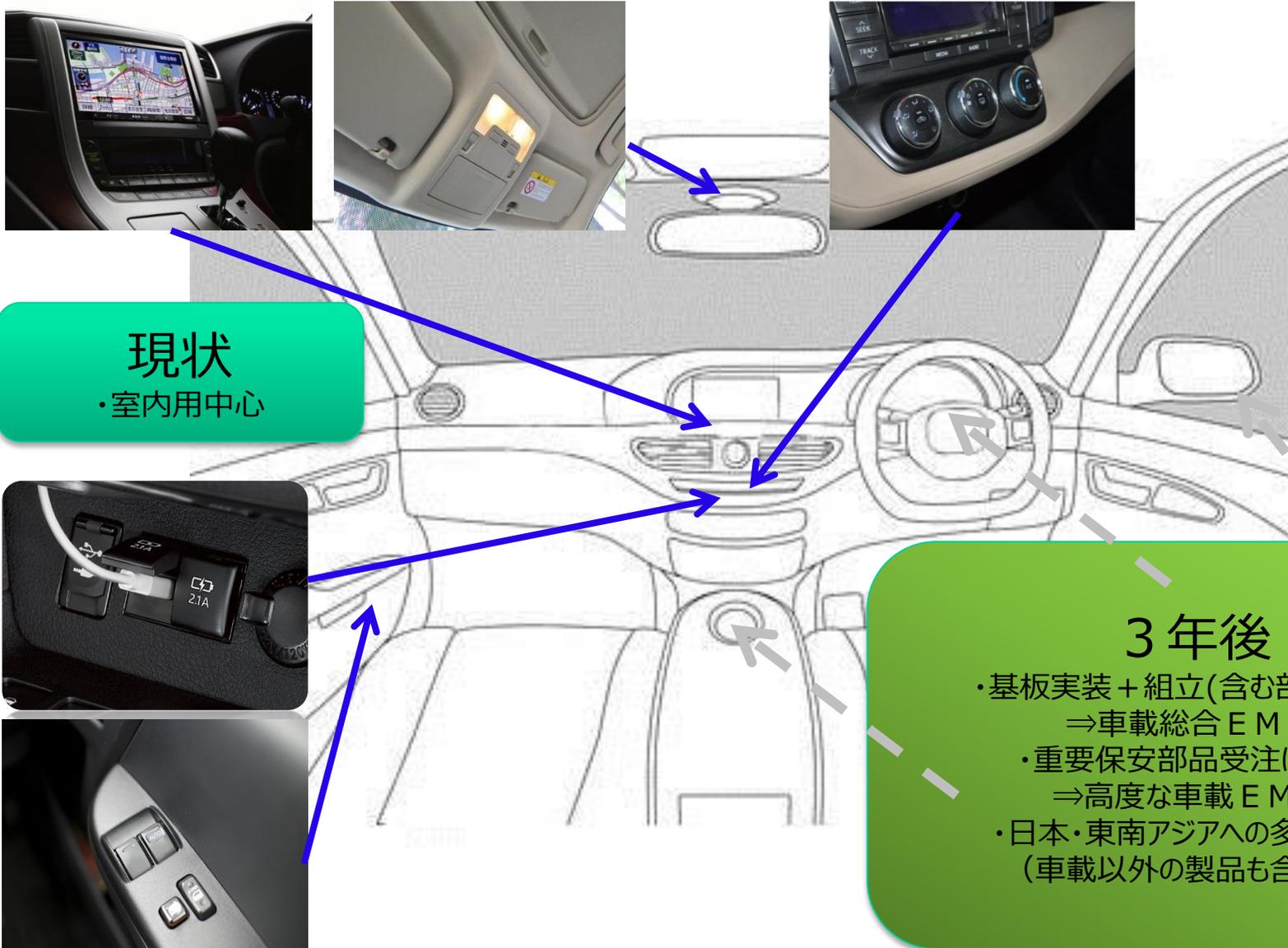
【4つの重点施策】

- ① 主要セグメント・コンバージョンに向けた取組と顧客多層化による売上拡大
- ② 開発設計力強化
- ③ 製造経費・販管費削減の断行によるコスト削減
- ④ 部材調達力強化

2. 利益配分に関する基本方針及び次期の配当

- ・ 利益配分については、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。
- ・ 利益配当につきましては経営基盤強化のための内部留保の蓄積状況を考慮しながら決定する所存であり、平成31年12月期の配当金は1株当たり20円を予定しております。

中長期的な経営戦略



現状
・室内用中心

3年後

- ・基板実装+組立(含む部材調達)
⇒車載総合EMSへ
- ・重要保安部品受注に注力
⇒高度な車載EMSへ
- ・日本・東南アジアへの多面展開
(車載以外の製品も含めて)

中長期的な経営戦略

トロワ深圳車載立上げのためのグループ取組

TROIS ELECTRONICS(WUXI)CO.,LTD.

無錫
車載マザー工場としての
グループ拠点立上フォロー
2015年タイ/2018年深圳

大日光・エンジニアリング/JP

グループ車載事業の統括
客先へのフォロー
JP生産立上推進2019～

TROIS (THAILAND)CO.,LTD.

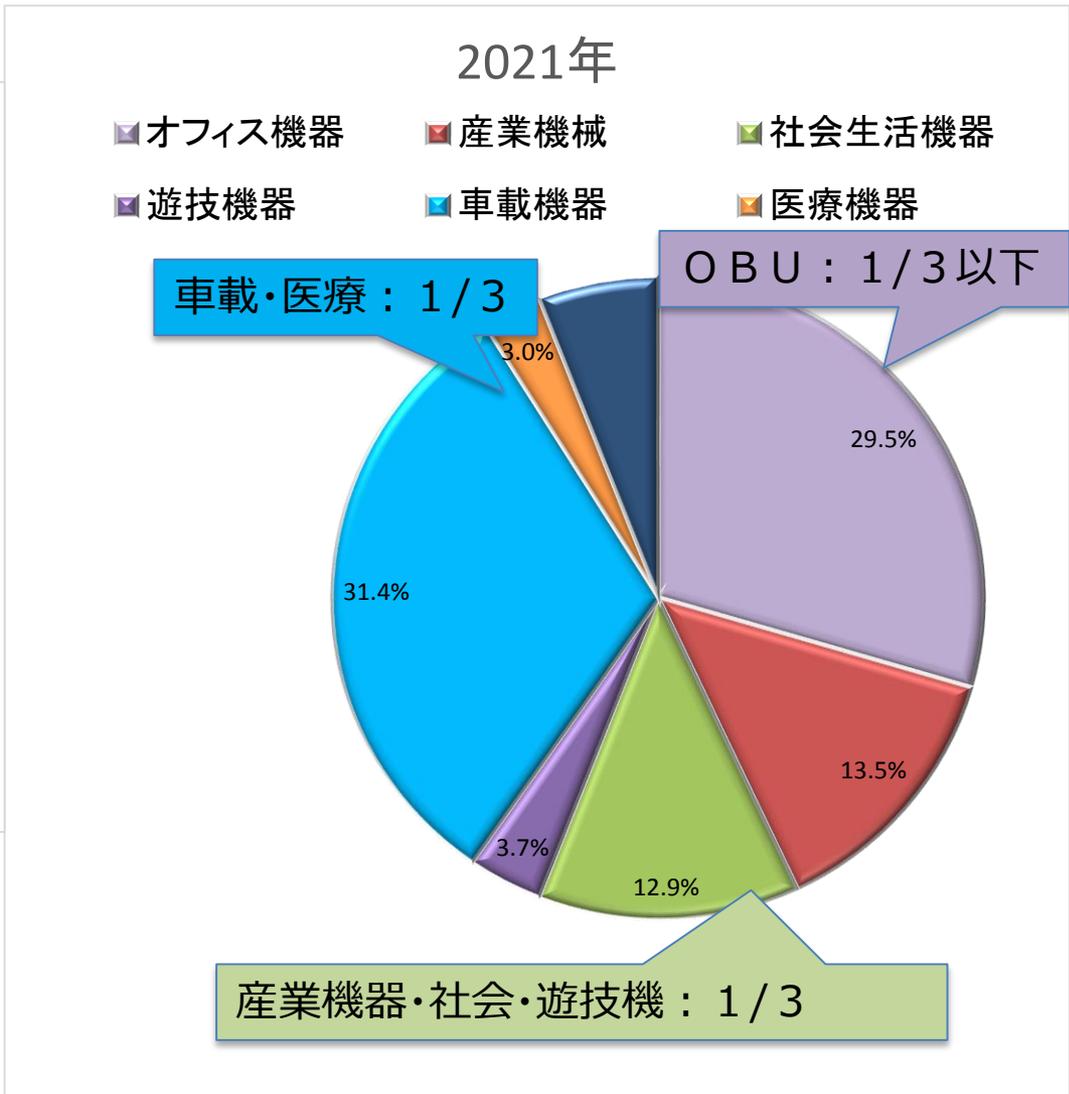
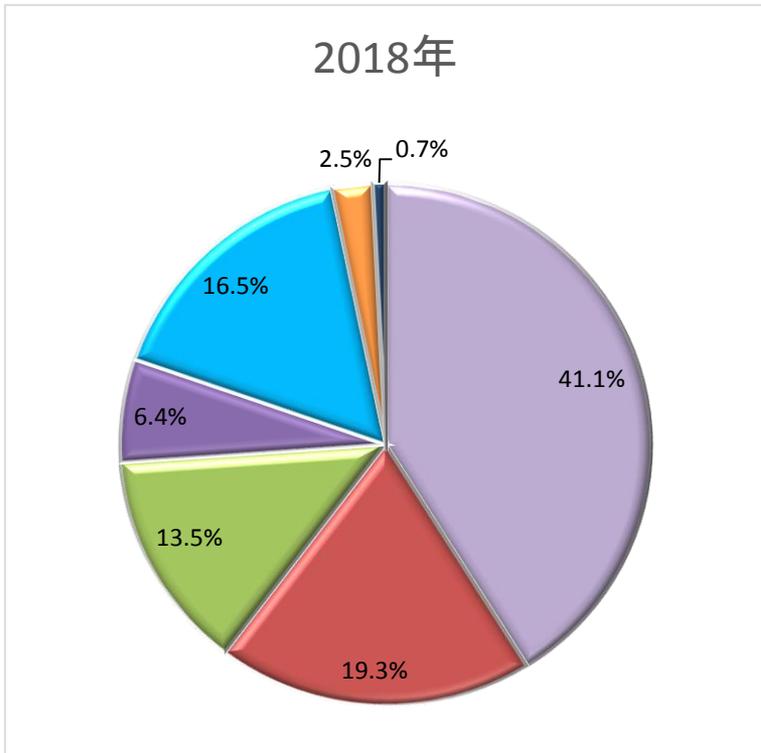
タイ
USB生産増に向けた体制強化
中国・華南地区での車載
立上フォロー

TROIS ENGINEERING PRETEC HK LTD.

NEW TROIS ELECTRONICS(SHENZHEN) LTD.

HK：部品共同購買
深圳：グループ車載受注
第3拠点として立上推進

3年後の製品セグメント変化

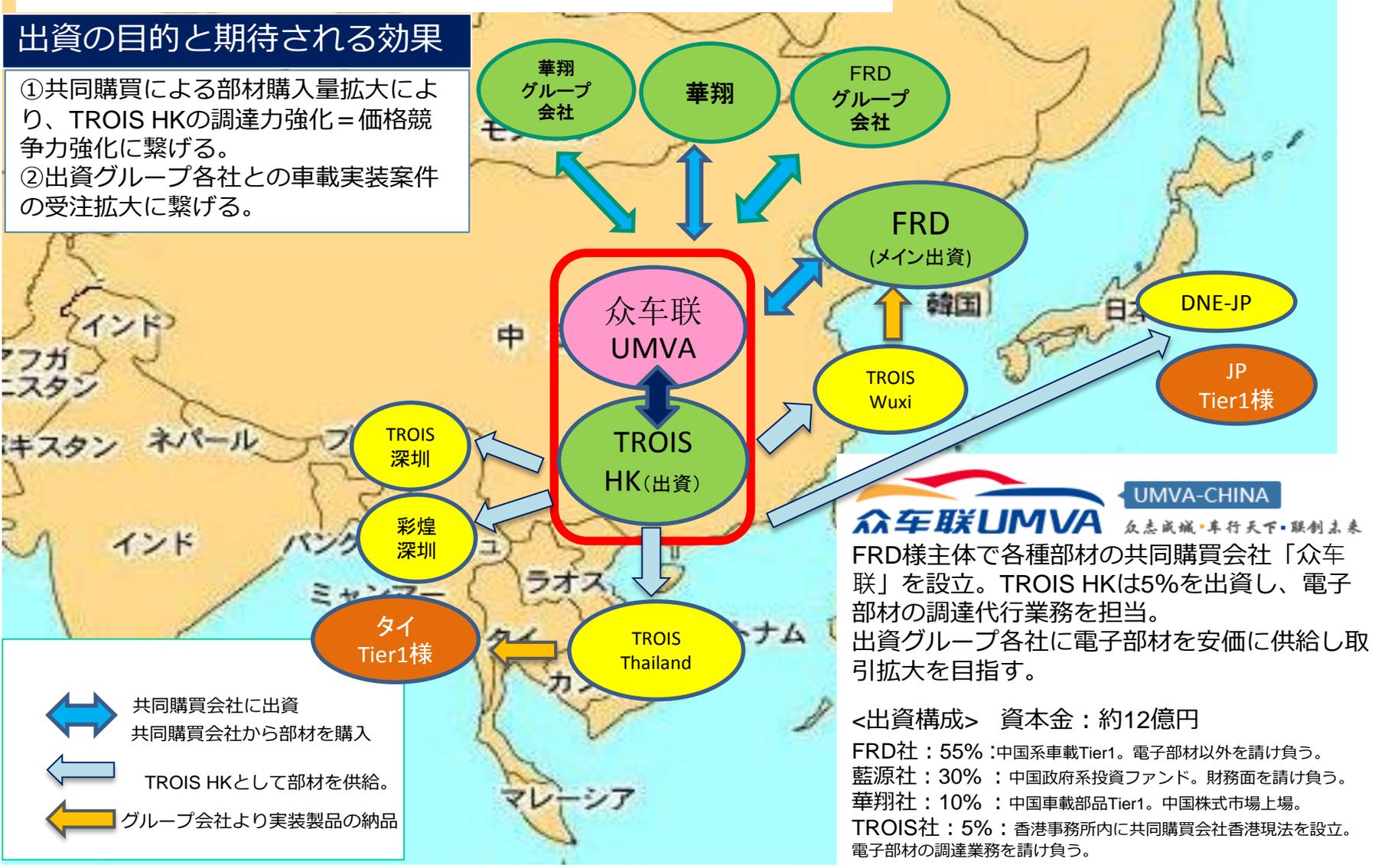


中長期的な経営戦略

部材代理購買体制

出資の目的と期待される効果

- ①共同購買による部材購入量拡大により、TROIS HKの調達力強化=価格競争力強化に繋げる。
- ②出資グループ各社との車載実装案件の受注拡大に繋げる。



众车联UMVA UMVA-CHINA
 众志诚城·车行天下·联创未来

FRD様主体で各種部材の共同購買会社「众车联」を設立。TROIS HKは5%を出資し、電子部材の調達代行業務を担当。出資グループ各社に電子部材を安価に供給し取引拡大を目指す。

<出資構成> 資本金：約12億円

FRD社：55%：中国系車載Tier1。電子部材以外を請け負う。
 藍源社：30%：中国政府系投資ファンド。財務面を請け負う。
 華翔社：10%：中国車載部品Tier1。中国株式市場上場。
 TROIS社：5%：香港事務所内に共同購買会社香港現法を設立。電子部材の調達業務を請け負う。